

令和 7 年度 教育施策について

教 育 部

教育総務課

義務教育の充実

(2) 教育施設・設備等の充実

- ① 事業名：情報教育補助員派遣事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 15,769 千円（R6 当初予算額 12,822 千円）
概要：情報教育指導補助員 4 人を小中学校へ派遣し、ICT 機器を活用した授業をサポートすることで児童生徒の情報活用能力の向上を図る。
- ② 事業名：電子黒板整備事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 37,191 千円（R6 当初予算額 56,702 千円）
概要：静止画のみならず動画の配信による外部との交流やタブレット端末との共有、など、視覚的な教材の活用幅を広げるため、機能強化された電子黒板の整備を行う。（電子黒板 46 台購入予定）
- ③ 事業名：公立学校情報機器整備事業（新規）
一次内示額 139,241 千円
概要：GIGA スクール構想（第 1 期）に整備した児童生徒用端末の更新を行う。（クロムブック端末 2,482 台購入予定）
- ④ 事業名：校務用コンピュータ整備事業
一次内示額 68,640 千円（R6 当初予算額 55,275 千円）
概要：導入から 5 年以上経過し、Windows11 アップグレード対象外の教職員用パソコンを更新するため購入する。（ノート PC：312 台購入予定）
- ⑤ 事業名：学校版ネットワーク強靱化事業
一次内示額 17,374 千円（R6 当初予算額 18,688 千円）
概要：教育用ネットワークの維持管理に必要な「回線使用料」「プロバイダ料」などの経費。
- ⑥ 事業名：GIGA スクール整備事業
一次内示額 11,003 千円（R6 当初予算額 7,258 千円）
概要：GIGA スクール運営維持に伴う WiFi（アクセスポイント）保守管理、ICT を活用した教育を推進するための「著作物の利用円滑化と著作権者の利益保護」に必要な著作物を無許諾利用できるための経費。

学校教育課

義務教育の充実

(1) 教育プログラムの充実

- ① 事業：外国人英語補助員配置事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 20,688 千円（R6 19,660 千円）
概要：外国人である ALT を中学校へ派遣することにより、ネイティブスピーカーによる生の外国語を体験させるだけでなく、異文化を持つ者とのコミュニケーションを通し、外国語への関心・意欲を高める。
- ② 事業：小学校英語活動講師配置事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 34,889 千円（R6 37,229 千円）
概要：小学校へ JTE を派遣し、コミュニケーションの手段として英語に慣れ親しませるとともに、実際の授業においてコミュニケーションを図る楽しさを体験させる。
- ③ 事業：中学校英語検定試験等補助事業
一次内示額 3,951 千円（R6 5,808 千円）
概要：中学生に英語検定試験等の受験料を助成し、資格受験を通し、グローバルな場面にも自信を持てる人材の育成を図る。
- ④ 事業：英語キャンプ事業
一次内示額 296 千円（R6 当初予算額 181 千円）
概要：夏休みに小学生・中学生それぞれを対象に英語環境を創出した活動を実施する。
- ⑤ 事業：事務管理経費（英語音読・プレゼン練習アプリケーション使用料）
一次内示額 4,104 千円（R6 3,987 千円）
概要：中学校に英語音読・プレゼン練習アプリケーションを導入し、英会話力の向上を図る。
- ⑥ 事業：小中学校国際交流事業
一次内示額 1,724 千円（R6 当初予算 1,724 千円）
概要：市内小中学校と県内アメリカンスクールの交流を通し、英語の興味関心を高め、異文化を認め合う風土を醸成することで、グローバルな人材の育成を図る。

- ⑦ 事業：理科備品整備事業
 予算要求額 7,000 千円（新規）
 概要：市内小中学校に必要な理科備品等の整備を図る。
- ⑧ 事業：小学校指導書・教師用教科書購入事業
 予算要求額 3,174 千円（R6 31,556 千円）
 概要：小学校教員に必要な指導書及び教師用教科書の整備を図る。
- ⑨ 事業：中学校指導書・教師用教科書購入事業
 予算要求額 15,162 千円（R6 150 千円）
 概要：中学校教員に必要な指導書及び教師用教科書の整備を図る。
- ⑩ 事業：学力向上推進事業
 予算要求額 1,410 千円（新規）
 概要：教育講演会や教育啓発のぼり旗の配付などこれまで学力向上推進委員会で実施してきた事業を継続し実施する。
- ⑪ 事業：学力強化支援事業
 予算要求額 13,346 千円（R6 13,346 千円）
 概要：受験に対する不安を取り除くため、市内中学校で放課後に受験生を対象として受験対策講座を実施する。

（3）学校給食の充実

- ① 事業：学校給食運営事業
 一次内示額 732,380 千円（R6 当初予算額 705,721 千円）
 概要：安全安心な学校給食を提供するために、施設の維持、給食調理、食材の調達給食費の徴収等の学校給食の運営を行う。
- ② 事業：学校給食センター整備等事業
 一次内示額 200 千円（R6 当初予算額 712 千円）
 概要：老朽化が課題となっている給食センターについて現行の学校給食衛生管理基準に則した建て替えに向けた取り組みを進める。

（5）個に応じた支援体制の充実

- ① 事業：就学援助補助事業
 一次内示額 90,480 千円（R6 当初予算額 85,337 千円）
 概要：経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、義務教育に必要な教育費の一部を援助費として支給する。また、特別

支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

② 事業：「生理の公平」事業

一次内示額 1,453 千円 (R6 当初予算額 1,255 千円)

概要：市内小中学校のトイレに生理用品を備えおくことにより、児童生徒が安心した学校生活の充実を図る。

③ 事業：適応指導教室学習支援員配置事業 (沖縄振興特別推進交付金事業)

一次内示額 8,408 千円 (R6 当初予算額 7,132 千円)

概要：とよむ適応指導教室へ学習支援補助員を配置し、適応指導教室へ通う児童生徒の支援を行う。

④ 事業：学力向上推進補助員配置事業 (沖縄振興特別推進交付金事業)

一次内示額 47,022 千円 (R6 当初予算額 48,439 千円)

概要：市内小中学校に教育の補助として学力向上推進補助員を配置し、別室等で教育支援を要する児童生徒の対応を行う。

⑤ 事業：校内自立支援室事業

一次内示額 8,298 千円 (R6 当初予算額 7,132 千円)

概要：校内自立支援室に学習支援補助員を配置し、校内自立支援室を利用する生徒の個々の状況に応じた学習支援を行う。

⑥ 事業：学習支援補助員配置事業 (沖縄振興特別推進交付金事業)

一次内示額 8,234 千円 (R6 当初予算額 7,132 千円)

概要：対象中学校に学習支援補助員を配置し、別室指導を要する生徒の状況に応じた教科指導等の支援を行う。

⑦ 事業：登校支援員配置事業 (沖縄振興特別推進交付金事業)

一次内示額 21,464 千円 (R6 当初予算額 14,452 千円)

概要：クラス担任制である小学校に登校支援員を配置し、授業で対応できない担任に代わり登校支援を行う。

⑧ 事業：校内支援教室物品整備事業

一次内示額 2,317 千円 (新規)

概要：小学校に校内支援教室を設置することに伴い必要となる物品を整備する。

- ⑨ 事業：スクールソーシャルワーカー配置事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 11,758 千円（R6 当初予算額 10,448 千円）
概要：児童・生徒が生活の中で抱えているいろいろな問題の解決を図るため、中学校区ごとに3名のスクールソーシャルワーカーを配置し、家庭と福祉関係部門を繋ぐなど課題解決を図る。
- ⑩ 事業：特別支援教育支援員配置事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 118,100 千円（R6 当初予算額 103,545 千円）
概要：支援員を配置し、教員と連携のうえ、特別な支援を要する子に対し学校生活上の介助や学習支援、健康・安全確保、周囲の子への障害理解促進を図る。
- ⑪ 事業：特別支援教育心理師配置事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 3,162 千円（新規）
概要：心理師を配置し、特別な支援を要する子の教育支援体制を学校と構築し、支援の充実を図る。
- ⑫ 事業：医療的ケアのための看護師配置事業
一次内示額 15,078 千円（R6 当初予算額 10,648 千円）
概要：日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が通学する市内小中学校に看護師を配置することにより、児童生徒等に係る学習環境を整備のうえ、教育の充実を図る。
- ⑬ 事業：事務管理経費（スクールロイヤー）
一次内示額 660 千円（R6 当初予算額 660 千円）
概要：子ども同士の問題、子どもと教師の問題、保護者と教師の問題などに対して子どもの最善の利益を念頭に学校を法的な観点から支援する。
- ⑭ 事業：部活動指導員配置事業
一次内示額 0 千円（R6 当初予算額 9,199 千円）
概要：各中学校に部活動外部指導員を配置し、部活動の適正な運営を図る。
- ⑮ 事業：児童生徒等派遣補助事業（沖縄振興特別推進交付金事業）
一次内示額 3,032 千円（R6 当初予算額 9,572 千円）
概要：離島・県外にて中学校体育連盟等が開催する派遣大会の渡航費等の一部を補助し、上位大会の出場機会の確保を図る。

学校施設課

義務教育の充実

(2) 教育施設・設備の充実

- ① 事業名：体育館・武道場天井等落下防止対策事業（沖縄振興公共投資交付金）
一次内示額 36,234 千円（R6 当初予算額 13,734 千円）
概要：平成 27 年度に作成した耐震点検報告書に基づき、市内小中学校の体育館等について天井等の非構造部材の落下防止対策を行う。令和 7 年度は伊良波小学校、伊良波中学校の工事を行う。
- ② 事業名：小中学校長寿命化事業（単独事業）
一次内示額 62,887 千円（R6 当初予算額 60,049 千円）
概要：豊見城市立学校施設長寿命化計画に基づき、施設の適切な維持管理及び長寿命化を図るため、不具合が生じている施設について改修及び機能強化を行う。令和 7 年度は豊見城小学校の運動場整備工事を行う。
- ③ 事業名：市内学校プール整備事業（沖縄振興特別推進市町村交付金）
一次内示額 9,790 千円（新規事業）
概要：学校屋外プール授業において、熱中症や紫外線対策のため、遮光ネットを設置する。令和 7 年度は設計業務を行う。
【対象校：長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、伊良波中】
- <小・中学校省エネ・再エネ設備導入推進事業>
- ④ 事業名：学校施設 LED 化推進事業（民間提案制度採択事業）
一次内示額 815 千円（R6 当初予算額 162,257 千円）
概要：学校施設の省エネ・再エネ設備導入を推進するため、令和 6 年度に工事を行った LED 照明の維持管理を行う。
【対象校：長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小（体育館のみ）、とよみ小、豊崎小、ゆたか小、長嶺中、伊良波中（体育館のみ）】
- ⑤ 事業名：かりーるーふ（太陽光第三者所有モデル）（民間提案制度採択事業）
概要：学校施設の省エネ・再エネ設備導入を推進するため、沖電グループが所有設置した太陽光発電設備の運用を開始するとともに、設置した学校において、環境学習（(株) 沖縄電力による出前授業）を行う。
【対象校：上田小 (R8.1.21)、ゆたか小 (R8.2.3)、豊見城中 (R7.11.26)】

生涯学習振興課

生涯学習社会の確立

1. 生涯学習のまちづくり

(1) 豊寿大学 一次内示額 294 千円 (R6 当初予算額 309 千円)

高齢者の仲間づくりと時代に対応できる学習の場を設け、地域へ貢献できる人材育成を目的に開設しています。

受講期間	2年間(令和6年度～令和7年度)
受講者	29人
受講内容	生涯学習講座、宿泊研修、市内巡り等

(2) 全沖縄子どもエイサーまつり

一次内示額 730 千円 (R6 当初予算額 730 千円)

県内各地の子ども会の参加による「全沖縄子どもエイサーまつり」を開催します。地域の伝統芸能であるエイサーの継承発展を図ることを目的に子どもエイサーの演舞が行われます。

主な経費： 市子ども会育成連絡協議会への補助金 730 千円
開催時期： 令和7年10月中旬(とみぐすく祭りと同日開催予定)

(3) 生涯学習フェスティバル 一次内示額 553 千円 (R6 当初予算額 553 千円)

市民一人ひとりが実践してきた生涯学習活動の成果の発表の場として、生涯学習フェスティバル実行委員会に補助します。

日程	令和8年2月21日(土)～22日(日)
会場	豊見城市立中央公民館及び豊見城総合公園
内容等	舞台発表・作品展示・子ども会発表会・動物ふれあいコーナー・講座・読み聞かせコーナー・体験コーナーなど

3. 生涯学習活動拠点の整備・充実

(1) 公民館費(事務管理経費)

一次内示額 44,448 千円 (R6 当初予算額 39,934 千円)

中央公民館では、一般講座・各種学習イベント・各種研修・サークル等の開催、高齢者を対象とした豊寿大学の実施、各字公民館や集会所での移動講座の開催を行うなど、生涯学習としての場の提供や学習環境の確保に努めています。市民ニーズも高いことを念頭におき、当面の間、定期的な点検等により安全な維持管理を行うとともに、劣化を抑えながら事前保全型の修繕対策を講じ、施設を維持してまいります。

4. 学校区域を拠点としたコミュニティづくり

(1) 放課後子ども教室推進事業

一次内示額 5,007千円 (R6当初予算額 4,946千円)

放課後や長期休暇中に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

(2) 地域学校協働活動推進事業

一次内示額 4,942千円 (R6当初予算額 4,671千円)

地域と学校が連携・協働して地域住民や企業、団体等の持つ多様な経験や技能を活用し地域全体の教育力の向上を図ります。

(3) 学校施設開放管理委託事業

一次内示額 3,178千円 (R6当初予算額 2,767千円)

市民の健康増進・スポーツの振興を図るため、学校教育活動に支障のない範囲内で、市内小中学校の体育施設をスポーツ団体及び地域住民等に広く開放することにより、市民のスポーツ・レクリエーション環境を維持するとともに、学校を拠点としたコミュニティづくりを推進します。

5. 家庭教育・地域教育力の向上

(1) 社会教育活動のための各種団体の育成

一次内示額 3,394千円 (R6当初予算額 3,094千円)

社会教育活動を推進するため、各種団体に補助を行います。

子ども会育成連絡協議会補助金	一次内示額 929千円 (R6当初予算額 929千円) 様々な体験活動を通して、子ども達の自主性や主体性を養うことを目的に活動している子ども会に補助をします。
市PTA連合会補助金	一次内示額 373千円 (R6当初予算額 373千円) 子ども達の健やかな成長のために保護者と教職員が活動しているPTA連合会に補助をします。
女性会補助金	一次内示額 713千円 (R6当初予算額 713千円) 女性の持つ豊かな知性と感性を組織活動に生かし、地域づくりに取り組んでいる女性会に補助をします。
青少年育成市民会議補助金	一次内示額 700千円 (R6当初予算額 700千円) 街頭指導などの活動をとおして青少年の健全育成に取り組んでいる青少年育成市民会議に補助をします。
ジュニアリーダー補助金	一次内示額 79千円 (R6当初予算額 79千円) 子ども会の運営指導やレクリエーション指導などの活動をしているジュニアリーダーに補助をします。
はたちの集い実行委員会補助金	一次内示額 600千円 (R6当初予算額 300千円) 二十歳の節目に、今後の活躍に期待と激励の気持ちを込めて開催される「はたちの集い」式典の企画・運営に取り組む各中学校区はたちの集い実行委員会へ補助金を交付します。

(2) 家庭教育支援事業 一次内示額 152 千円 (R6 当初予算額 152 千円)

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが健やかに育つためには必要不可欠なものであるため、すべての親が家庭教育に関する学習ができるよう家庭教育力の向上につながる取組を推進します。

県外・国際交流の活性化

1. 姉妹都市を軸とする県外交流の活性化

(1) 姉妹都市交流事業 一次内示額 5,104 千円 (R6 当初予算額 5,330 千円)

姉妹都市交流事業は、経済や交流文化、子ども会、スポーツ少年団の青少年交流を行っています。人材育成や平和、文化、スポーツ交流を積極的に推進し、お互いを尊重する気持ちを育てると共に将来に渡って絆を深めていきます。

＜本市の姉妹都市＞

戦時中の学童疎開を縁とした姉妹都市：宮崎県美郷町（旧北郷村）、高千穂町

ジョン万次郎を機縁とした姉妹都市：高知県土佐清水市

子ども会の姉妹都市交流 【10-5-1 社会教育総務費】	一次内示額 3,019 千円 (R6 当初予算額 3,150 千円) 宮崎県美郷町 (旧北郷村) 受入：令和 7 年 7 月 (836 千円) 36 人予定 派遣：令和 7 年 8 月 (2,183 千円)
---------------------------------	--

スポーツ少年団の姉妹都市交流 【10-6-1 保健体育総務費】	一次内示額 2,085 千円 (R6 当初予算額 2,180 千円) 宮崎県高千穂町 受入：令和 7 年 7 月 宮崎県高千穂町 派遣：令和 7 年 8 月 高知県土佐清水市 派遣：令和 7 年 8 月
------------------------------------	--

(2) ジュニアリーダー県外研修補助金

一次内示額 718 千円 (R6 当初予算額 709 千円)

ジュニアリーダークラブに県外研修の経験を与え、協調性やリーダーとしての自覚を育て、活動の普及促進へ繋げることを目的としています。

(3) 少年平和大使 一次内示額 555 千円 (R6 当初予算額 373 千円)

広島県大竹市と本市の中学生が平和の尊さ、文化、歴史などについて学習するとともに交歓交流を行い、友情を培う事業です。

交流期間	令和 7 年 8 月 4 日 (月) ~ 7 日 (木) (予定) (派遣) 3 泊 4 日
参加対象	市内中学生 10 人・大竹市中学生 10 人

2. 国際交流の推進

(1) 市青少年国際交流事業 (沖縄振興特別推進交付金事業)

一次内示額 15,116 千円 (R6 当初予算額 15,116 千円)

本市の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流事業及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応し得る青少年の育成を目的としています。

スポーツ・レクリエーションの振興

1. 多彩なスポーツ事業の実施

(1) 保健体育総務費（事務管理経費）

一次内示額 21,925 千円 （R6 当初予算額 18,313 千円）

子どもから高齢者までの生涯各期に渡り、スポーツ教室やスポーツ大会等を企画・運営するなど、生涯スポーツの推進及び競技力向上に取り組みます。

(2) 体育施設費（施設管理経費）

一次内示額 83,393 千円 （R6 当初予算額 101,644 千円）

市民が安全に安心して体育施設を利用していただけるよう施設の維持管理や必要箇所に修繕を行い、市民が安心してスポーツを楽しめる環境を提供し、生涯スポーツの推進及び競技力向上取り組みます。

(3) 児童生徒派遣費補助事業（沖縄振興特別推進交付金事業）

一次内示額 10,944 千円 （R6 当初予算額 10,944 千円）

本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会等に出場する際に必要な派遣費の一部を助成する事業です。

同事業は、子ども達が優秀な成績を収めた場合の派遣費用の一部を補助するものであり、子ども達の頑張りやチャレンジする意欲を含めて支援してまいります。

2. スポーツ関連団体と指導者の育成支援

(1) スポーツ関連団体への支援

一次内示額 12,627 千円 （R6 当初予算額 12,015 千円）

市民の体育の向上と健全な心身の発達を図り、スポーツ団体の育成及び競技力向上のため、体育協会やスポーツ少年団への運営費を補助します。

○体育協会への運営補助 一次内示額 11,773 千円（R6 当初予算額 10,595 千円）

○スポーツ少年団への運営補助 一次内示額 854 千円（R6 当初予算額 1,420 千円）

3. スポーツによる地域活性化

(1) サッカーキャンプ等受入推進事業（沖縄振興特別推進交付金事業）

一次内示額 14,300 千円 （R6 当初予算額 14,300 千円）

プロサッカーキャンプの受入に必要な総合公園陸上競技場の芝生環境の継続的な維持管理を行います。

文化課

生涯学習社会の確立

1. 生涯学習のまちづくり

(4) 図書館費（事務管理経費）

○一次内示額 118,643 千円（R6 当初予算額 143,699 千円）

市立中央図書館は、平成8年に開館して以来、図書資料の充実、利用者ニーズへの対応及び生涯学習の支援を行い、市民の多種多様な学習情報の発信拠点としての一躍を担っています。

令和3年度に策定した「豊見城市図書館基本計画（10年間）」により、市民に愛される図書館を目指して、各種重点施策を中心に様々な施策を展開します。

令和5年度からは学校図書館とのシステム連携を図り、児童生徒が中央図書館へ来館せずとも図書資料を検索、予約、貸出ができるような環境を整えています。

また、学校図書館だけでは資料をそろえることが難しいジャンル、複数冊が必要な場合などは「学校支援レファレンス・配送サービス」を活用しています。

(5) 電子図書館整備事業

○一次内示額 3,360 千円（R6 当初予算額 3,360 千円）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として、子ども達の学習環境の整備等を図るため、令和2年度に新型コロナ地方創生交付金を活用して、電子図書館システムを導入しております。電子図書館は、インターネット上で電子書籍の貸出・返却ができるサービスです。スマホやタブレット、パソコンの画面で文字を拡大し読み上げ機能もあり、返却期限になると自動的に読めなくなり、未返却や汚破損の心配もありません。

令和6年度時点で3,549コンテンツを整備しています。令和7年度以降も市民ニーズを的確にとらえ、幅広い世代への選書を行ってまいります。

地域文化の振興

(2) 歴史的・文化的資源の保護・整備活用

○事業名：埋蔵文化財確認調査事業（文化庁補助事業）

一次内示額 10,000 千円（R6 当初予算額 10,337 千円）

概要：豊見城グスクの発掘調査報告書の発刊、長嶺城址総合公園整備事業に伴い、長堂古島遺跡での試掘確認調査を実施する。

(3) 文化事業の推進と関連施設の充実

○事業名：デジタル博物館事業（一括交付金事業）

一次内示額 45,169 千円（R6 当初予算額 42,731 千円）

概要：デジタル博物館の拡充・高度化・普及と市民協働型歴史・記憶継承活動を推進し、市民・学校・観光客等に豊見城市の魅力を発信し、地域文化の振興に寄与する。

(4) 市史の調査と記録

○事業名：豊見城市史第5巻「社会と文化・教育編」編集事業

一次内示額 9,544 千円（R6 当初予算額 11,831 千円）

概要：戦前から続く教育・文化・産業等の歴史や終戦直後の社会の歩みと、その後の本土復帰、急速な都市化等を経験した豊見城の歴史を多角的な視点から調査・資料収集を行い、豊見城独自の変化の有様を明らかにすることを目的に本巻を発刊し、後世に伝える。（発刊は令和7年度）